

令和6年10月吉日 所長 海老澤政昭

9月は様々なことがありました。大地震からの復興途上にある能登地方が、記録的な豪雨によりさらに甚大な被害に見舞われています。一日も早い復興を願います。

「これまでに経験したことのないような大雨」「想定外」という表現は度々聞かれます。早い判断を心がけたいと思います。

国内の政治情勢も慌ただしいですね。私たちの仕事である社会福祉事業は国の施策による影響はとても大きいです。注視していく必要があります。国外においてもアメリカの大統領選挙が近く、ウクライナ、イスラエル、ロシア、中国などさまざまな情勢についても目が離せませんね。

さて、早いもので今年度の前期が終了し、後期に突入です。この10月には、個別支援計画における前期まとめ及び後期案についての保護者面談があります。ご協力よろしく申し上げます。

第Ⅱ期10か年計画の主目的は「グループホーム建設及び運営開始」ということは度々伝えてきております。今年度より始動している「グループホーム建設準備委員会」の会合も6回を数え、着々と計画が進められているところです。この保護者面談の際に多少なりとも報告ができるよう準備しつつ、また、運営開始年度等を含めたニーズ調査も計画中です。まだまだ、流動的ではありますが、県への「整備予定案件調査」提出（令和6年10月2日提出予定）も踏まえて、しっかりと準備していくつもりですので併せてご協力よろしく申し上げます。

9月は防災月間！

地震防災訓練に加え、非常食体験を行いました。

フルーツ缶と、熱々のカップ麺をフーフーしながら完食しました。災害が起きたら、おなかいっぱい食べられないことがあるかもしれないけど、みんなで食べるとおいしいね。



吉原北中学校3年生を対象に 福祉学習講話を実施しました

令和6年8月29日(木)午前10時40分より「障害者福祉について/ごうでいんぐ岩世ヶ原」「高齢者ふれあいいきいきサロン」「子ども食堂」などをテーマにそれぞれ代表者が活動報告を、分かりやすく講義しました。ごうでいんぐ岩世ヶ原では、通所生活介護の仲間たちが行っているエコキャップ磨きや環境ボランティア、就労B型では、カフェ作業やパン作りなど美味しさをPRしました。簡単な手話や生活の中にある視覚障害者用の点字もサンプルを交えながら福祉について伝えることができました。



【編集後記】

朝晩は涼しい風が吹くようになりましたね。秋の収穫に向けて続けて頑張っていきましょう♪